

⑨ 日本国特許庁 (JP)  
⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開  
昭57-119056

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
E 04 F 15/04

識別記号

厅内整理番号  
2101-2E

⑬ 公開 昭和57年(1982)7月24日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 床材の一部貼替え方法

⑮ 特 願 昭56-5347  
⑯ 出 願 昭56(1981)1月15日

⑰ 発明者 鶴原悌三  
門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

⑱ 発明者 藤田清臣

門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

⑲ 出願人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

⑳ 代理人 弁理士 石田長七

明 講 章

1. 発明の名称

床材の一箇貼替え方法

2. 特許請求の範囲

① 床に既設の床材の一帯を除去し、除去された床材に接着していった両床材の接着面端面に沿つて離さぬ面を切欠し、新しい床材の内両端面に沿つて受けられた凹所内に既設接着面を嵌入し、この新しい床材を除去された床材のものとの位置嵌込み、この凹所内の既設接着面を接着させて接合する床材の離さぬ面に嵌合する離さぬ面を形成することを特徴とする床材の一箇貼替え法。

② 床材の離さぬ面及び離さぬ面を一定ピッチ規則的な波状に形成することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の床材の一箇貼替え方法。

発明の詳細な説明

本発明は床材の一箇貼替え方法に関する。

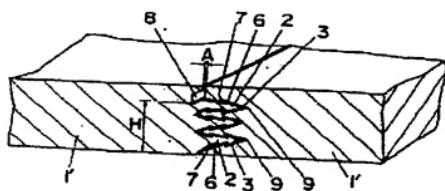
既設床材の床材(I)にあつては、第1図に示す

ように、両端にのこ歯状の嵌合部(2)を持つ離さぬ面(3)と内面(4)との端部の被保止部(5)を持つ離さぬ面(3)と嵌合させることにより床材(I)同士を連結して床に既設されており、しかも嵌合部(2)と被保止部(5)とが互に平行に並んで嵌合することにより床材(I)間の隙間(6)が最小になるようにしてあつた。また、離さぬ面(3)の上に設けた空所(7)に釘穴を設けることによつて釘の効く離さぬ面(3)を大きくし、釘の効きを良くしてあつた。また離さぬ面(3)の底に接着剤(8)を塗り付けて離さぬ面(3)と離さぬ面(3)の離さぬ面(3)を大きくすると共に、床下からの振動を防止してある。

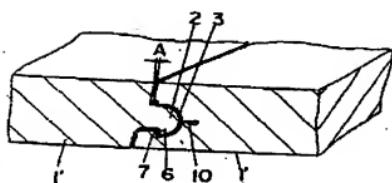
また、別な離さぬ面(3)の床材(I)にあつては、第2図に示すように、床材(I)の一側の離さぬ面(3)と床材(I)他の離さぬ面(3)とを嵌合させ、離さぬ面(3)下面の嵌合部(2)と、離さぬ面(3)下内面の嵌合部(2)に平行な被保止部(5)とを嵌合させて床材(I)間の隙間(6)を最小にして空間に延長してあつた。また、離さぬ面(3)の底には切り縫跡を切入してあつて、離さぬ面(3)を離さぬ面(3)に嵌合させるとまた離さ

第 1 図

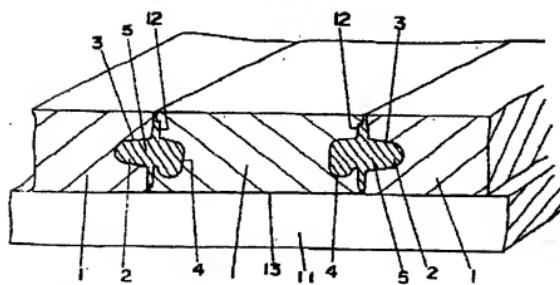
特許昭57-119056(3)



第 2 図



第 3 図



第 4 図

